

守江幼・護江小だより 第22号

校(園)長 小河 正二
発行日 令和2年10月26日(月)

学校教育目標

ふるさとを愛し、
夢と希望に向かって
主体的に学ぶ護江っ子の育成



サラリーマン川柳

随分前に発表がありました「サラリーマン川柳」。全国から5万3194句の応募があったそうで、その中から最終10句がインターネットで選出されました。そのベスト10句の中から、数句を紹介します。

■第1位

「わが家では 最強スクラム 妻・娘」

■第2位

「パプリカを 食べない我が子が 踊っている」

■第3位

「話し聞け！ スマホいじるな！ 『メモですが』」

第5位

「たばこ辞め それでも妻に 煙たがれ」

■第7位

「登録が ストレスだらけの キャッシュレス」

■第9位

「ギガバイト 時給いくらか 孫に聞く」

今の世相をよく反映しています。ちょっと息ぬきですので、ご容赦ください。

恩師(山本常男先生)のことは

登る時には気づかなかった山の景色も、下りる時になって、見える景色もある。

美しく変身

校舎まわりが、どんどん美しく変身しています。
園山主事がこつこつと作業を行っています。体育館裏側は暗くうっそうとしていましたが、ご覧のとおりです。



授業研究の取り組み

本校は、「確かな学力の定着」を目指して、授業研究・改善に取り組んでいます。

テーマは「自分の考えをもち、友だちの考えと比べ、伝え合う力を育てる授業づくり」です。

10月21日(水)には、学校教育課の訪問も受け「校内授業研究会」「互見授業」(お互いに授業を見合い、教えあう)を行いました。

今後も、子どもたちのやる気を引き出し、分かりやすく、考えを伝え合う授業づくりの実践研究に継続して取り組んでいきたいと思ひます。



今後の行事予定

○「保護者への児童引き渡し訓練」について

- 本年度の年間行事計画の中に、6月11日(木)学校公開日、リレー集会の際に、「引き渡し訓練」を実施するようにはしていました。しかし、新型コロナウイルス感染症対策により、大幅に授業計画及び年間行事を変更せざるを得ない状況となりました。本年度の実施を模索してきましたが、実施の見通しがたちません。つきましては、本年度の実施を見送り、来年度一学期実施の方向で考えていますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。